

ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!



ボランティア募集!

～市民協働の花のまちづくり～



月に1回、週に1回、自分の都合でほんの数時間だけでも参加してみませんか!



市民ガーデニングボランティア

JR深谷駅北口ステーションガーデン、深谷駅通り、国道17号の3カ所の花壇を管理しています。

また、『ふかや花フェスタ』での会場装飾も行っています。参加できる日が少なくても大丈夫です。皆さんと楽しく花壇を整備して、深谷市をきれいに彩りませんか。



▲市民ガーデニングボランティアの皆さん



ふかや緑の王国ボランティア

ふかや緑の王国は「市民がつくり 市民が守り育てる 市民の森」。市民との協働作業で成長する王国と一緒に活動しませんか?

王国での四季折々の催しも、ボランティアの力で開催しています。



▲ふかや緑の王国ボランティアの皆さん



深谷アダプトプログラム

「アダプト」とは、英語で養子縁組をすること。公園や道路、緑地などの公共空間を市民、学校、各種団体の皆さんが里親となって管理しています。オレンジの看板が目印です。興味のあるかたは遠慮なくご相談ください。

ガーデニング教室参加者募集!

【サクラソウ教室】

サクラソウを自分で育て、その魅力を感じてみませんか。

とき 2月7日(水)午前10時～正午

ところ ふかや緑の王国

定員 先着10人 参加料 1,300円

講師 河田博氏(ふかや緑の王国ボランティア)

申し込み 1月15日(月)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ



【くねくねワイヤー-チョコランタン作り】

電球色のソーラーライトをワイヤーで装飾したお庭のオブジェです。

とき 2月14日(水)午前10時～正午

ところ ふかや緑の王国

定員 先着20人 参加料 2,300円(スタンドは別途100円)

講師 大澤八千代氏(モルタルデコマイスター)

申し込み 1月15日(月)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ



▲作品イメージ

早春のガーデンガイドツアー参加者募集

早春のかわいらしい花々を探しに出かけませんか。ふかや緑の王国ボランティアが案内します。

とき 2月17日(土)午前10時～11時30分

ところ ふかや緑の王国

定員 先着20人

参加料 300円(王国植物花暦、花苗1ポット付き)

申し込み 1月17日(土)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ



▲バイカオウレン



ふっかちゃん子ども福祉事業

「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用して下記の助成事業を実施しています。詳しくはお問い合わせください。

	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成	深谷市ふっかちゃん障害児療育経費助成事業	深谷市ふっかちゃん障害児スポーツ助成事業
助成内容	補聴器を購入する費用の一部	障害児が医師の指示のもと実施される専門性の高い療育事業に参加した場合、その経費の一部	障害児が行う障害者スポーツに必要な補装具・用具・消耗品の購入費用など
助成対象	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までの難聴児①深谷市に住所を有する②両耳の聴力レベルが25デシベル以上で、身体障害者手帳の交付対象とならない③装用により言語の習得など一定の効果が見込めると医師が判断	次の要件すべてを満たす18歳未満の障害児または障害児の保護者①障害児または障害児の保護者のいずれかが深谷市に住所を有する②対象の療育事業(音楽療法、ソーシャルスキル、ヴィジョントレーニングなど)に参加した	次の要件すべてを満たす18歳年度末(18歳に達する日以降の最初の3月31日)までの障害児①深谷市に住所を有するまたは在勤、在学している②障害者スポーツに必要な補装具の購入・修理または用具・消耗品の購入
助成金額	購入する補聴器の種類によって異なります。	参加費用の2分の1(100円未満切捨て) ※月額上限5,000円	<ul style="list-style-type: none"> 補装具の購入または修理費の10分の9(年間上限50万円) 用具または消耗品費の2分の1(年間上限4万円)
備考	購入する前に申請が必要です。	障害者手帳を所持していないかたも医師の意見書により助成を受けられる場合があります。	対象スポーツであれば部活などで使用する場合も対象(授業で使用する場合は対象外)。障害者手帳を所持していないかたも医師の意見書などにより助成を受けられる場合があります。

☎障害福祉課 (☎ 571 - 1011・☎ 574 - 6667)

新紙幣 あれこれ

新千円札の顔 北里柴三郎

新千円札の肖像に選ばれた北里柴三郎は、『近代日本医学の父』として知られる細菌学者・教育者です。

母親の教育方針のもと、幼少期から親戚の家に預けられ、厳しくしつけられて育ちました。感染率と致死率の高さで恐れられていた「ペスト菌」の発見や全身の筋肉をけいれんさせる病「破傷風」の予防と治療方法を開発した人として有名ですが、破傷風の純粋培養に成功したときはまだ36歳でした。翌年には免疫抗体を発見し、それを応用して血清療法を確立するなど、これらの業績が認められ世界的研究者として名声を



実はこんな一面も?



▲北里柴三郎(学校法人北里研究所提供)

1921年(大正10年)当時、日本で使用されていた体温計は海外からの輸入品でしたが、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えてしまいました。そこで、北里柴三郎が日本の医学者たちが発起人となり、国産で良質な体温計を作ろうと、医療機器メーカーとして知られるテルモ(株)の前身である赤線検温器(株)を設立しました。

当時、体温計は病院で使うものという認識が一般的でしたが、国産の体温計が家庭に広く普及し、体温を測って健康管理をするという今では当たり前の生活が浸透していきました。

その後、テルモ(株)では体温計だけでなくさまざまな医療機器が開発され、世界中で使用されています。

博しました。